

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	5校舎8階
担 当 教 員	小川正子・加藤裕史 岡井豪	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成として、特に心理や精神保健福祉に関する領域の調査研究を行い、研究論文としてまとめる。論文作成過程を通じて、調査・分析能力をはじめコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、リーダーシップやフォローシップ、主体性、行動力を育成することを目的としている。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70%、出席20%、平常点10%とします。その他、発表中の態度なども加味します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
随時、必要な資料や参考書を呈示する。						
《授業外における学習方法》						
グループのメンバーと時間を調整し、授業外でも調査や討論、作業を進めていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
1年間かけて取り組むものです。1つのテーマで、じっくりと考える習慣や、実証的な説明が身につくよう願っています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画を立案できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
		各コマにおける授業予定	研究論文の構成、意義、目的、研究方法、データ分析、考察、参考文献の書き方 等。 教員が随時指導をしながら、PPTや抄録での作成を進める。(4月～5月)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	構想発表会を通して自らの研究計画をプレゼン、また他チームに対する質疑ができるようになる。	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	構想発表会(5月最終週)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	構想発表会での指摘を受け、適切な修正や調査範囲の拡大ができるようになる。	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	先行研究の収集、研究方法の再考 等。 教員が随時指導をしながら、実現可能な研究計画を練る。(6月～7月)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	計画発表会を通して自らの研究計画と先行研究をプレゼンし、他チームに対して的確な質疑ができるようになる。	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	計画発表会(7月最終週)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	夏休みを通して、必要な調査依頼と調査の実施ができる。	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	調査依頼の方法、調査の手順、データの入力 等(8月)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			